暴壓又暴壓

演說全部中止さる

横濱船渠の爭議

全市職工の示威運動

乱闘また乱闘多數同志の不法檢束に抑へ難い憤怒を抱いて薄田町忠孝館に集合した約一千人の横浜船渠労働團體は久米警察部長が指揮する所轄壽町署の警官並に横浜市内各署の選抜隊數百名に監視されて險惡の空氣漲る裡に午後一時半盛んなる演說会を開き東京から来援した赤松外十數名の應援士が交々起つて熱烈なる熱辯を揮つたが誰も彼も臨檢の佐藤、高千穂両警部から演說中止を命ぜられ辛くも横浜側の七八名の演說が了り騒擾の声囂々の裡に五時散会したが

場外に出た一同は尚物足らずとあつて忽ち会場前で隊伍を整へ幟の会旗を先頭にして百名の警官に物々しく圍繞され午下の川辺に出て労働歌を盛んに高唱しながら駈足を始め川を挾んで行進する警官の群をテコ摺らせること暫し遂に警察当局が忌避して居た

横濱第一の賑やかな通りである伊勢佐木町に乗出し盛んに示威運動を行ひ伊勢佐木署附近から漸く三々五々退散したがその示威行列中に新たに三名の檢束者を見るに至つた尚職工團は夜も遅くまで戸部町の本部に何事か籠策して居た

横濱市長宅へ

押し寄せた職工の一團

玄關に頑張りし二名壽町署へ

警官との衝突で殺氣立つた職工團は警戒が薄田町の忠孝館に集中されてゐる機を狙ひ久保田市長が市の代表として横浜船渠の株を所有した市長としても今回の爭議に何等の調停を試みんとせぬのは不親切であるとの理由で數十名一團を作り五日午後一時老松町の市長公宅へ押寄せたが折柄市長は不在で面会出来ず代表に稲垣上野の二名を選び市長の帰宅を待つて嚴談を試みたが

足尾から應援隊

六日正午横濱へ

意氣揚る罷業團

横浜船渠爭議に應援すべく足尾銅山の通洞本山横燒の各工夫職工數十名は昨年の足尾大爭議の首謀者として官憲に睨まれ

西三日前出獄した野村、高橋五名の猛者の指揮の下に六日午前東京上野駅に到着し五日横浜に来援した労働隊同盟の連中に迎へられてこゝに一團を作つて六日正午を期して大挙横浜に来着し應援示威を試むことゝなつたのでもや警官隊と白兵戦が現出さるゝであらうと(横浜)

差入を許されぬ

爭議檢束者

五日横浜船渠労働爭議の際乱闘の末檢束せられた者は日本労働総同盟

職人の怠業るのに

請負師等困る

近く間に合へば宜かと

平博の開會を控へて

▼督勵 して居るが、兎角わるい癖で業の附いて居る人夫職工連の狡猾さは隨所に現はれ現在職長工事に雇はれて居る大工其他の賃金は大工左官武力屋等は三圓五十錢人夫下働きは一圓仕事師二圓五十錢ペンキや二圓五十錢と言ふ定めであるが、口實を儲けて盛に

▼賃銀 の居直りを已はせ

平和博の開會迄六日しかない、萌き返る樣な賑ひを現出される筈のが未だ足場のまゝの建築や基礎工事も半のがあるので「これで開會に間に合ふかしとか「開會になつて足場がある抔は不敬罰だ」などと言ふ私語が高いので、府當局も頭痛鉢巻で各請負師を

今朝迄は後五日と言ふのを新ませうな顔をすればプカリ〳〵煙草を吹かして鼻唄を謡ふと言つて始末に、請負師連も手古摺つて居るが結局先がないので請負師側が負て了ひ賃銀を増して切に工事を急いでゐる

出品の搬入は

本日が切

然し遅れたので

自然繰延べ

獨逸出品は本日メ切日なるに拘らず昨日に出品の来俵が馬力二臺其他一臺の搬入をせたるのみで、各館とも陳列棚其他内の装飾を用ひらざる有樣なる爲明日中に出品搬入し了るとも到底陳列の運ひには到らず、事務局にては大の困ひである

船渠職工

警官と亂鬪

應援の松岡氏は

毆られて檢束

【横濱電話】爭議中の横濱船渠會社職工に應援の爲め、五日朝東京の日本[illegible]會から五百餘名の團士が[illegible]着すると云ふので蘇[illegible]警察[illegible]市内各署の非番巡査の總召集を行ひ横濱驛前を中心に神奈川驛前方面に亘り大々的に戒嚴なる出迎への爲め参集する職工を追ひ散らし、宛然警察官對職工團爭鬪の活劇を見せた

斯くて

午前十一時頃東京側の應援團は松岡駒吉氏を先頭に横濱驛着の豫定をコツソリ變更して神奈川驛に下車し密かに参集した三百餘名の職工に迎へられ各組合旗十數旗を押立て

勞働歌

を高唱しながら船渠會社に向つて進行し神奈川驛に向つた

應援團幹部の檢束で

職工團愈々激昂

演說會は解散され

代表職工五名も檢束

【新潟電話】松岡駒吉氏以下の東京應援團の幹部を檢束された職工團は愈々激昂し約三百名の

一隊は

久保山から藤太田を經て薄田町忠孝館に殺到した

應援團前に差覓るや、警戒中の今井戸部署長引率の警官隊二百餘名は駈足で前路を遮り行列を阻止せんとした爲茲に又もや警官隊と

職工團

の一大鬪爭を現出し毆る蹴るの大騒ぎに電車は一時通行止の狀態であつた松岡駒吉氏は特別せんとして巡査に三三度殴打様に横面を殴られ同氏を初め東京鐵工組合の秋山、清遠船工組合の竹田新之助

外一名

は戸部署に檢束された此の警官の暴力行動に憤慨した職工連は薄田町忠孝館に

戸部常設館

で演說會を開き更に氣勢を揚げる事に決定した斯くて探知した警察部では大日深更まで今七日の取締方法を協議して警戒一層厳重にする手筈を定めた因に記松岡駒吉以下廿名の檢束者は同夜戸部署に留置された

殺氣を

帶びて騒ぎ

午

處四時半頃漸く閉會したが一團興の聲を擧げて口々に官憲の暴行を痛問した爲め再び警官と活劇を演じ遂に五名の代表職工は檢束され拳銃たる裡に散會した尚ほ職工代表[illegible]

外五名

は同日久保田市長に調停方を高圧したが市長不在の爲め要領を得なかつたが日[illegible]市長が調停の勞を取るべきや否る疑問さされて居る

決死隊を加へて

今日も

演說會を開く

檢束廿一名

職工と警察官と大衝突を來した結果伊勢佐木町署に三名と壽町署に五名戸部署に十三名都合廿一名の檢束者を出した一方六日午前八時上野駅を出て尾鉄山から應援として佐藤某外九名の決死隊が來着し正午から戸部常設館で演說會を開き更に氣勢を揚げる事に決定した斯くて探知した警察部では大日深更まで今七日の取締方法を協議して警戒一層厳重にする手筈を定めた因に記松岡駒吉以下廿名の檢束者は同夜戸部署に留置された

一五百餘名は何れも

殺氣を帶びて騒ぎ

午

處四時半頃漸く閉會したが一團興の聲を擧げて口々に官憲の暴行を痛問した爲め再び警官と活劇を演じ遂に五名の代表職工は檢束され拳銃たる裡に散會した尚ほ職工代表[illegible]